鉄の杖の王国

Introduction

Introduction

鉄の杖の王国 のみ言の元情報について

三代王権・こころのサンクチュアリ教会

2018年2月27日水曜礼拝神の王国の鉄の杖Ⅵより

·하나님 왕국의 철창Ⅵ·문형진 2대왕 **文亨進 二代王**

このみ言ではなぜ左派、共産主義・中央集権政府が根本的に悪であるのか、非常にわかりやすく説明しておられます。

またグランドキャニオン聖地に行けという内容です。
2月28日完成期生命の書入籍祝福の前、3時間以上に渡って詳しくみ言を下さいました。この入籍祝福を受けたものの必読版です。
（最初の一時間はエルダー部長のマスコミが騒いでいることの説明：省略）
かなり中身が濃すぎるので分割して紹介します。

43:44 https://youtu.be/77yy8ONhq1A?t=2622より（翻訳：Minionとjongjong監修：ファンクラブ）

サンクチュアリNEWS

２０１７年１２月３１日　「鉄の杖の王国＃１」

Kingdom of the Rod of Iron 1

翻訳：管理人

いま新しいシリーズに取り組んでいます。

皆さんにもすぐに分かるでしょう。
それは「イエス・キリストが説いた王国の福音」と、「キリストの鉄の杖による統治の方法」を組み合わせて研究することです。

鉄の杖の王国 のみ言の元情報について

米国サンクチュアリ教会の文字起こし資料

Sermon & Speech Transcripts

Blessed Families and Registration
Rev. Timothy Elder February 4, 2018

Kingdom of the Rod of Iron 2
Rev. Hyung Jin Sean Moon January 7, 2018

Kingdom Right of Defense
Rev. Hyung Jin Sean Moon December 24, 2017

Kingdom of Resurrection II
Rev. Hyung Jin Sean Moon December 10, 2017

The Unmovable Kingdom
Rev. Hyung Jin Sean Moon November 26, 2017

The Harlot of Babylon
Rev. Hyung Jin Sean Moon November 5, 2017

A Modern Babylon
Rev. Hyung Jin Sean Moon October 22, 2017

Kingdom of the Rod of Iron 3
Rev. Hyung Jin Sean Moon January 14, 2018

Kingdom of the Rod of Iron 1
Rev. Hyung Jin Sean Moon December 31, 2017

Kingdom of the Rod of Iron
Rev. Hyung Jin Sean Moon December 17, 2017

Kingdom of Resurrection
Rev. Hyung Jin Sean Moon December 3, 2017

Revelation 18
Rev. Hyung Jin Sean Moon November 12, 2017

Revelation 15, 16
Rev. Hyung Jin Sean Moon October 29, 2017

Post Mid-Trib
Rev. Hyung Jin Sean Moon October 15, 2017

鉄の杖の王国 の背景

今、新しいシリーズに取り組んでいます。皆さんにもすぐに分かるでしょう。それは「**イエス・キリストが説いた王国の福音**」と、「**キリストの鉄の杖による統治方法**」を組み合わせて研究することです。

そのために、もう一度王国に関する聖句をみてきた **新約聖書** に戻ることにします。今度は **鉄の杖の観点** からそれらを見直していきます。即ち、**千年王国におけるキリストによる王国の統治方法** の観点で見ていくのです。

（鉄の杖の王国１　2017/12/31）

鉄の杖の王国 の構成

ユダヤ・キリスト教の
王国と王権

19 ✓ 王国の福音
✓ 民主主義ではない王国
21 ✓ 鉄の杖で統治する王国
✓ キリストの共同相続人
23 ✓ 平和軍・平和警察の王国

主権復帰

26 ✓ キリスト教徒を取り戻す
✓ 未来の世代を取り戻す
✓ 鉄の杖の権威で主権を取り戻す
✓ 銃器所有を守る

王国の統治

✓ 国民が責任を負う
27 ✓ 自由と責任で発展する
✓ 抑制と均衡
✓ 平和軍・平和警察
✓ （次の世代の）教育

（政治）**サタン主義**

✓ 社会主義・共産主義の本質
✓ 世界を支配したロスチャイルド
✓ サタンと君臨するカトリック教会
25 ✓ 政治サタン主義における支配
✓ 文化相対主義などによる支配

私達の戦い

2018/2/28

✓ 王と王妃による祝福式
✓ 言論における左派の攻撃
✓ 米国の保守の戦い
✓ 政治サタン主義から王国を守る
✓ 鉄の杖の王国を作る

鉄の杖の王国 の構成

第一章
神様の王国と王権

- ✓ 王国の福音
- ✓ 民主主義ではない王国
- ✓ 鉄の杖で統治する王国
- ✓ キリストの共同相続人
- ✓ 平和軍・平和警察の王国

第三章
王国の主権復帰

- ✓ キリスト教徒を取り戻す
- ✓ 未来の世代を取り戻す
- ✓ 鉄の杖の権威で主権を取り戻す
- ✓ 銃器所有を守る

第四章
王国の統治

- ✓ 国民が責任を負う
- ✓ 自由と責任で発展する
- ✓ 抑制と均衡
- ✓ 平和軍・平和警察
- ✓ （次の世代の）教育

第二章
政治サタン主義

- ✓ 社会主義・共産主義の本質
- ✓ 世界を支配したロスチャイルド
- ✓ サタンと君臨するカトリック教会
- ✓ 政治サタン主義における支配
- ✓ 文化相対主義などによる支配

第五章
7年以内に
王国を作る

- ✓ 王と王妃による祝福式
- ✓ 言論における左派の攻撃
- ✓ 米国の保守の戦い
- ✓ 政治サタン主義から王国を守る
- ✓ 鉄の杖の王国を作る

7年以内に王国を作る

7年以内に王国を作る ～ 文國進様のみ言より（2015/8/31）

　アブラハムの時と酷似している。アブラハムは95%を果たしたが、最後に鳩を割かなかった。5%が成されなかったので二代目（イサク）と三代目（ヤコブ）に引き継いだ。アブラハムと同じ立場になったのが今の状況。**真の父母の立場はお父様一代では勝利されず、三代を通して勝利するしかない。三代目（信俊様）が立つ時に勝利することになる。**

　お父様の時にキリスト教が受け入れず失敗したため、統一教会はユダヤ教（旧約の宗教）の位置で出発した。亨進様は第二代王であり、それはキリスト教の基盤を構築しながら立てなければならない。結果的に神の審判を受けなければならなくなった。

　アダムとエバが堕落してもアベルとカインが勝利すればアダム家庭で同時代に復帰は可能だった。だからアベルとカイン（亨進様と国進様）の一体化により、今回の失敗を復帰するのは簡単。どの程度の審判があり、どの位の期間になるのかについてはお父様が語られている。

次ページに続く

7年以内に王国を作る ～ 文國進様のみ言より（2015/8/31）

お母様が責任を果たせなければ、聖和の後3年が経ってからから7年間の審判期間があるとお父様は言われた。今年から2022年まで。世界の人口の半分がなくなるだろうとか、韓国人や日本人は80%から90%が死ぬとも言われた。

審判を避けられないかと訊く人もいるが、７年の審判期間は歴史を見ればとても短い。７年間は苛烈に審判されるだろうが短い。お父様がいらっしゃる時は、我々は許されて審判を避けることができた。今は避けることができない。

審判の後、真の父母が完成され、三代王権が成されれば天一国が成される。神様は原理原則に従う神様なので、神の国を造るために最後の審判に向かっている。三代王権を通してしかできない。審判の道しかない。

（文國進様のみ言 2015/8/31）

7年以内に王国を作る ～ 文國進様のみ言より（2015/8/31）

皆が祝福を受けてどのような社会にしていくべきか。**イスラム教は大きくなればなるほど人々を支配していった。**神様と人間との契約が守られる社会を作っていかなければならない。過去の独裁政権にしてはいけない。

天一国は自分を守るための刀や銃を持つことができる社会。我々が感謝しなければならないのは、天一国は我々が主人となっていけること。共産主義は平等を唱えたが、10人程度の少数が多数を支配した。社会主義は1000人が全体を支配した。社会保障のある国は15%程度が国民を支配する。天一国はより多くの人が主人となり、皆に所有権がある。

政府をなくし、法律をなくし、自由と責任を持つ社会が願われている。王権があるけれど、より小さな政府。天一国では政府が縛られ、国民は自由になる。お父様を収監するなどして十字架に付けたのは政府。サタン世界は政府を強力にして人を支配する。これからは逆に政府が人の僕になる。

7年の審判が終わったら天一国が出来る。邪魔する人や邪魔する主権は7年の間になくなる。

（文國進様のみ言 2015/8/31）

7年以内に王国を作る ～ 亨進二代王のみ言より

私達は田舎の森の中で静かに小さな祝福式をしようとしたのですが、お父様が信じられない役事をされて世界的なニュースになりました。
考えてみて下さい。**第二次世界大戦以後、キリスト教がお父様を受け入れて従えば７年以内に地上天国が出来たのです。**７年以内、それほど早く出来たのです。

同様に、**お父様の王権とカインとアベル、そしてお父様の遺産と、お父様の権限圏に帰って来た宗族王と王妃が一緒に立つようになれば、７年以内に世界がひっくり返ります。**

考えてみて下さい。黙示録3:11に王冠を誰にも奪われるなとあります。
すべてのクリスチャンが王冠をかぶり、私も王と王妃だと言ってAR-15を所有すれば、世界がひっくり返ります。現代の詐欺師である中央政府組織と共産主義が滅びます。

（鉄の杖の王国8 2018/3/14）

Appendix

王国の福音

なぜ、私達は王国や鉄の杖について話すのでしょうか? それはイエス様ご自身が定めた福音だからです。十字架の死と復活とは対照的です。しかし、イエス様ご自身が神様の王国の福音を描写されているのです。聖句を見せれば証明出来るのです。私や私の言葉を信じる必要はありません。聖句を見れば、イエス様ご自身が福音をそのように定めていることが分かります。

メソジスト派のような主流のキリスト教会は、神様の王国は地上に決して出来ないと教えていますが、信じられますか ? ティム本部長のお父さんは、メソジスト派の宣教師として家族と共に日本にいました。メソジスト派は、王国は聖霊によって来ているので地上には来ないと言っています。

カトリック教会は小児性愛者を保護し、巨大な世界銀行を有する中央集権のバチカン教会が王国だと言います。これらがキリスト教会の主流です。プロテスタントも国営のキリスト教も神様の王国が来るとは教えていません。

（鉄の杖の王国10 2018/3/25）

民主主義ではない王国

マルコ1:15 **「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」。**

どの福音ですか。神の国だということです。バシリウス、これは王と言う意味です。そしてバシリアは王国を意味します。王を中心とする国だからです。

これをクリスチャンとしてどう話しますか、現代西洋の民主主義を愛する人々に。しかしクリスチャンなら王国を信じなければいけないのです。この地上に実体を持って現れる王国です。ここで困ったことになりました。民主主義が大好きだからです。300年と続いたことのない体制が大好きです。トランプ大統領もこれを続けて行くでしょう。

しかし民主主義は300年以上続きません。必ず衆愚政治に取って代わられます。大衆は自分が欲しいものを国から取ろうとし、政治家は国民に迎合して票を集めようとします。そして文明は崩壊します。例外はありません。

（鉄の杖の王国１ 2017/12/31）

鉄の杖で統治する王国

詩編2:9　**おまえは鉄のつえをもって彼らを打ち破り、陶工の作る器物のように彼らを打ち砕くであろう」と。**

　鉄の杖をもって打ち破り、とあります。あまり耳に心地よい言葉ではありません。陶工の作る器物のように打ち砕くと言っているのです。優しい物言いでは決してないのです。

　クリスチャン心理はこうです。「ああ、恐ろしい」と言ってここを飛ばして読むのです。恐ろしいのです。イエスが再臨して（キューバの独裁者）フィデル・カストルのようになるのではないか。独裁者のようになればその下で生きるのも辛いでしょう。クリスチャンは実際、怖れているのです。
愛国的アメリカのクリスチャンがこの部分を読めば、最初は「よし、主は悪を木っ端微塵にして下さる」と喜ぶのですが、その後どうなりますか。「我々は独裁者の下で生きるのか」と不安になります。これは大きな問題です。

（鉄の杖の王国１　2017/12/31）

キリストの共同相続人

詩編2:8　**わたしに求めよ、わたしはもろもろの国を嗣業としておまえに与え、地のはてまでもおまえの所有として与える**

　信仰ある者達、生き延びた者達は神様と共に立ち、地を受け継ぐと言われています。詩編2:8に書かれています。それは我々が権力を誇示するためでも、傲慢や不遜になるためでもありません。神様がおっしゃったからそうなるのです。

　だから善人がしなければならないことは、私自身も乗り越えたことですが、神様が相続権を与えて下さったら受け取らなければいけないということです。自己中心だからではなく、神様が選んで与えて下さった、ただそれだけの理由があるからです。
もしそれを受け取らなければ、神様が下さった相続という責任を放棄すれば、サタンがそれを取ります。他の誰かが奪って行くのです。

（鉄の杖の王国３　2018/1/14）

平和軍・平和警察の王国

目的が大きくなるにしたがって、神様の命じられた十戒が縮小されて二戒になりました。第一は神様を愛し、第二は隣人を愛するという二つの戒めです。それよりもっと重要な戒めは、子供の時から親子の関係、そして夫婦としての人生の訓練、そして平和軍・平和警察の訓練を経て神様の文明圏と王国を保護し、キリストに高く栄光を捧げる健康な人生を送ることです。

内的な決意を継続しなければいけません。平和軍・平和警察の内的な根は何かと言えば **JC**（イエス・キリスト）と **C2**（再臨のキリスト）。主が望まれる内容は主を愛して隣人を愛せよ。自分の妻も隣人になりますね？子供達も隣人になりますね。また、より隣にいる人が隣人になりますね？そうではないですか？内的な決意を続けない限り、その目的を達成することは出来ないのです。

（鉄の杖の王国16 2018/5/23）

平和軍・平和警察の王国

ヨハネ15:13　**人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。**

　一緒に訓練してひどく苦労すれば、互いの痛みと大変さを理解します。皆さんが訓練で負けて「また負けた、強くなれないからもう行かない」と泣いて喚く感情を私は良く知っています。二代王は知らないと思うかも知れないけれど、二代王も全て経験しました。

　だから、そのような文明圏の中で互いに理解するのです。弱い人を見て「その人は弱いから捕食しよう」と、暴君的に思うのではなく、弱い人を見たら「その人は弱いから訓練をしてあげなければ」と、その人と一緒に訓練をして強くしてあげたいと思う、ヨハネ15:13にある人のために死ねる愛の心で訓練してあげるのです。

（鉄の杖の王国17 2018/5/30）

政治サタン主義における支配

お父様は毛沢東が嫌いでした。そして、クリスチャンを嫌う無神論者の政治サタン主義者はすべて嫌いでした。彼らはキリスト教を憎み、マルクス主義が「宗教は民衆の阿片だ」という言葉を信じていました。特にキリスト教を憎みました。人をだめにするドラッグだといって。

権力を握った者はそれほど愚か者だったのです。権力を握り、片っ端から国民を殺していきました。どうしようもない愚か者です。毛沢東は何と言ったでしょうか。
「**政権は銃口から生まれる**（政治権力は銃によってもたらされる）。共産党は全ての銃を支配しなければならない。そうして共産党に歯向かう銃がひとつもないようにするのだ」

（鉄の杖の王国10 2018/3/25）

キリスト教徒を取り戻す

　抑圧された奴隷のように、２級市民のように扱われる普通の市民が虐げられた人達であり、心の中では分かっているのですが、社会やエリートが押し付けるよりも大きな役割を持っています。

　彼らが一旦キリストにおける自らのアイデンティティを知って自分が誰であるかを理解すれば、そしてキリストとその王国と王権と、その憲法と共に立てば、キリストがなぜこのようなものを準備されたのか理解するのです。**彼らは勇気と確信を持って立ち上がり、慈悲と愛情と、そして悪なる勢力に抵抗する力と権威を持って立ち向かいます。悪は滅びて神様の王国が勝利します。**

（鉄の杖の王国11 2018/4/1）

自由と責任で発展する

（左派カルトの）教師や牧師は国に服従するように教え、社会主義や共産主義をイエス様の統治方法として受け入れるように教えています。それはエデンの園で自由意思と責任を与えられた神様と正反対なのに。イエス様が説明されている神様の王国と正反対です。

それは自然で有機的な場所です。国や中央集権の干渉は全くありません。種の喩えを使って示されています。**神様は種を広めますが、その過程は有機的で自然であり、それによって種が栄えます。**それが現実の政治体制の中で起こります。**人々が自由と責任を持つ時にそれが起きます。自由市場があるなら、アイデアと転換や開花があり、他の人に奉仕すればするほど成功して成長して高い木になります。他の人より顧客を愛して奉仕すれば、より高い木に成長して実りもより多くなります。**

（鉄の杖の王国9 2018/3/18）

EOF